

園長先生の子育てひろば

令和7年4月

園長 堀田あけみ

桜満開の中、新年度が始まりました。幼稚園には今年も新しい年少さんが、たくさんやってきました。年中さん、年長さんから参加する園児もいます。楽し気にはしゃぐ声と同時に、親御さんと離れたくなくて泣いてしまう声も響いています。

幼稚園は、基本的には9時に登園、14時に降園ですが、預かり保育も実施しています。くまちゃんクラスといいます。長期休暇でも、くまちゃんクラスは開催されていますので、新入園児も4月1日から一足お先にくまちゃんに参加していました。

同時に、今年度より給食の業者さんが代わりました。4月1日から業務を開始しましたので、ドキドキしながら見守っていましたが、滞りなく昼食とおやつが配膳されて一安心です。私は、午後の預かりに入りましたので、おやつをぱくぱく食べて、お替りしている子ども達や、メモを片手にその様子を見守っておられる調理の方を見て、これからは美味しいご飯を安全にお届けできる確信を持ちました。

椋山幼稚園と保育園は、同じ園舎にあります。保育園を卒園したお子さんは、そのまま幼稚園に来ることが多く、4月1日から入るお子さんは、保育園出身がほとんどです。くまちゃんでは新入生は幼稚園のものとは形の違う名札をつけているので、すぐわかります。気を付けて様子を見ていましたが、みんな、安定していました。お食事もお手洗いも、スムーズです。園内での行く先は違っても同じ玄関から入りますし、先生の顔も見ることがありますから、特に緊張したりしないんでしょうね。

私は幼稚園には月木金で出勤します。その日は、9時と14時に正門に立って、「おはようございます」「さようなら」をします。保育園のみなさんにもご挨拶するので、子どもから見ても「知ってる顔」になるのでしょうか。「先生、これで遊ぶ」「この本読んで」と、物おじせずにやってきます。問題はその先で、くまちゃんには全学年が入るので、年長向けの玩具や絵本があります。「これ読んで」と新年少さんが持ってきた本が、あきらかに年長向け（昆虫の生態の本）だったので、「これじゃなくて、別のにしでしょ。一緒に選びに行こうね」と誘いましたが、これがいい、とのこと。解説を入れつつ読み始めましたが、2ページ目でどこかへ行ってしまいました。じゃあ、これでおしまいかというと、いつの間にか年長の男児が来ていて、続きは彼の解説を聞きつつ、読み進めることになります。「先生、知ってる？ ダンゴムシって昆虫じゃなくてさ『こうかくるい』なんだよ」。

本格的に新学期が始まると、おうちが恋しい子も出てきます。幼稚園には、いろんな場所とものがあるので、大好きなものを見つけて、暮らしていきましょう。